

離床プレアドバイザー認定試験問題 (一部解答例付属)

※インストラクター問題は非公開

◆このページでは、離床プレアドバイザー認定試験に実際に出題された問題（一部）および解答例をPDFファイル形式で掲載します。試験レベル把握・学習にお役立てください。

なお、掲載された問題、解答例についての質問については受付できませんので、予めご了承ください。

※各問題の著作権は、(社)日本離床研究会が所有しています。無断転載、及び無断での営利目的使用は一切禁止します。



一般社団法人 日本離床研究会事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-12 プラールビル 2F

TEL: 03-3556-5585 FAX: 03-6272-9683

Email: jsea@rishou.com HP: <http://www.rishou.org/>

【呼吸分野問題①】

呼吸不全の患者を離床前にアセスメントしたところ、 PaO_2 92torr 吸入酸素濃度 40%であった、この患者の P/F 比の値として正しいものを1つ選べ。

選択肢：

1. 230
2. 268
3. 300
4. 368
5. 434

解答：1

解説：

1. $92 \div 0.4 = 230$ $\text{FI}O_2$ は小数に直して計算する。

【呼吸分野問題②】

人工呼吸器管理中に気道内圧の上昇アラームが鳴りだした。考えられる原因として誤っているものを1つ選べ。

選択肢：

1. 気道狭窄による気道抵抗の上昇
2. 肺コンプライアンスの低下
3. 人工呼吸器の換気と患者の呼吸の非同調：ファイティング
4. 分泌物の貯留
5. 気管チューブのカフ部分からのエアリーク

解答：5

解説：

5. 気管チューブのカフからのリークが起こると気道内圧は低くなる

【循環分野問題】

不整脈と離床の関係で誤っているものを1つ選べ。

選択肢：

1. 心室細動(VF)―離床は行わない
2. 3度房室ブロック(ペースメーカー挿入)―離床は行わない
3. 慢性心房細動(Af)(投薬コントロール中)―離床可能
4. Lown 分類「4B」―離床は行わない
5. 心室頻拍(VT)―離床は行わない

解答：2

解説：

2. 各学会のガイドラインでも、3度房室ブロックでかつ「ペースメーカー非挿入」の場合、離床は禁忌となっている。よって3度房室ブロック(ペースメーカー挿入)―離床は行わないが誤りである。

【脳神経分野問題】

脳出血後の患者が、頭痛・嘔気を訴え続けており、頭蓋内圧亢進を疑い医師に連絡を行った。頭蓋内圧について正しいもの1つを選べ。

選択肢：

1. 正常な頭蓋内圧は脳実質、脳脊髄液、血液の3者によって規定される
2. 頭蓋内圧と脳灌流圧は同じ意味で使われる
3. 頭蓋内圧の正常値は文献によりさまざまであるが約60～180mmHgである
4. 頭蓋内圧が亢進すると血圧は低下する
5. 頭蓋内圧亢進を防ぐには、ベッドはフラット(水平)が良い

解答：1

解説：

2. 頭蓋内圧(ICP)は閉鎖空間である頭蓋内の圧、脳灌流圧(CPP)は頭蓋内圧に打ち勝ち頭蓋内を灌流するための圧である。
3. 60～180 mm H₂O(水柱)単位であり、血圧(mmHg)・頭蓋内圧(mmH₂O)の違いに注意する。
4. 頭蓋内圧が亢進すると血圧は上昇する。
5. 頭蓋内圧亢進を防ぐには、ヘッドアップ15～30度が良い。

【離床技術分野問題】

呼吸障害を有する患者への体位変換（ポジショニング）について誤っているものを1つ選べ。

選択肢：

1. S10 の病変では腹臥位が望ましいが、困難な場合は前傾側臥位で行う
2. 呼吸状態が悪化したら再評価し継続の可否を判断する
3. 再評価し離床可能でもポジショニングを優先したほうがよい
4. 人工呼吸器がついていても離床開始基準を満たしていれば早期離床を図る
5. P/F 比が 200 以下の場合には安易に離床を行わず、チームで話し合い離床の可否を検討する

解答：3

解説：

3. ポジショニングも必要であるが可能な範囲での離床も重要である。

【検査データ・薬剤分野問題①】

それぞれの降圧剤とその特徴の組み合わせで誤っているのはどれか1つ選べ。

選択肢：

1. β 遮断薬－積極適応として心筋梗塞後・狭心症・頻脈・心不全が挙げられる（JSA2009）
2. Ca 拮抗薬－降圧作用が緩やかなので副作用も少なく第一選択薬として使用される
3. ACE 阻害薬－血管拡張作用と心拍出量を増加させる作用がある
4. ARB 薬－降圧効果は ACE 阻害薬より劣るが空咳を起こす頻度が少ない
5. 降圧利尿剤－長期服用で代謝系に影響を及ぼす恐れがある

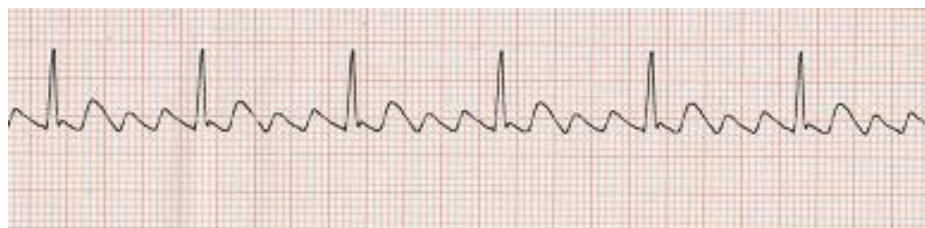
解答：2

解説：

2. Ca 拮抗薬の降圧効果は緩やかではなく強い

【検査データ・薬剤分野問題②】

昨日離床を行い正常洞調律であった患者さんが、本日は下記波形であった。この下記波形について誤っている組み合わせを1つ選べ。



選択肢：

- a) R-R 間隔が規則的である
- b) 上室性不整脈である
- c) P 波がはっきりわからない
- d) 心房粗動の 3 : 1 伝導である
- e) 洞結節以降は正常な刺激伝導である

1. a, b 2. b, c 3. c, d 4. d, e 5. a, c

解答：4 (d, e)

解説：

- d) 心房粗動の 4:1 伝導であり、心房の興奮 4 回のうち 1 回が心室に伝導された状態である。
- e) 洞結節以外の心房内に形成されたリエントリー回路が原因の不整脈である。房室結節以降は正常な刺激伝導である。

【多角分野問題】

摂食嚥下の 5 期モデル（準備期・先行期・咽頭期・口腔期・食道期）で分類した際、下記の選択肢で誤っている組み合わせを 1 つ選べ。

選択肢：

- a) 認知期（先行期）は食べ物を口に取り込むまでの段階を指す。
- b) 口腔期は口腔内での食塊形成の段階を指す。
- c) 準備期は食べ物を口腔から咽頭へと送り込む段階を指す。
- d) 咽頭期は咽頭を通過する段階を指す。
- e) 食道期では、食道に入った食塊が蠕動運動と重力によって下方へ運ばれ最終的に胃へと至る段階を指す。

1. a, b 2. b, c 3. c, d 4. d, e 5. a, c

解答：2 (b, c)

解説：

- b) 口腔内で食塊形成する段階を準備期と呼ぶ。
- c) 食べ物を口腔から咽頭へと送り込む段階を口腔期と呼ぶ。

【離床の実践分野問題①】

大腿骨頸部骨折後、人工骨頭置換術を行った78歳の女性。心不全を合併している。術後1日目より離床開始。尿量が1日800mlと少なく、端座位で息切れを認めたため、立位は行えなかった。利尿剤を投与した結果、2日目の時点で尿量は1日2,500mlと増加し、息切れも低下したため、本日立位を行おうと考えた。介入前のアセスメント項目として優先度の低い組み合わせを1つ選べ。

選択肢：

- a) 股関節の関節可動域 (ROM)
- b) 口腔内の状態
- c) 左右の棘下長差
- d) 鱗屑の有無
- e) 不整脈の有無

1. a, b 2. b, c 3. c, d 4. d, e 5. a, c

解答：5 (a, c)

解説：この症例で最も警戒すべきは尿量増加による脱水である。b. d. e はいずれも脱水を示唆する所見、a. c は必要であるが立位開始のリスク管理としては、脱水に比して劣る解答となる。

【離床の実践分野問題②】

脱水の疑いで入院となった74歳の男性。補液を行い順調に回復していたが、誤嚥性肺炎を起こした後、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）となった。人工呼吸器管理下、SIMVモードサポート圧8cmH₂O、PEEP 10cmH₂O、FI_{O2} 0.8で経過していたが、本日PaO₂が改善し、同条件で140torrとなったため、FI_{O2}を0.7に下げ、2時間経過後も100torrをキープしている。鎮静剤はドルミカム®を使用していたが、プレセデックス®に切り換えた結果、3時間後から患者さんがそわそわし始め、時折気管内挿管チューブを抜こうとする行動がある（RASS = +2）。これまでヘッドアップ45°で対応してきたので、そわそわ感が落ち着いているタイミングをみて、80°まで角度を上げたところ、めまいはしないものの、収縮期血圧は20mmHg低下した。この時とるべき行動のうち優先度の低い組み合わせを1つ選べ。

選択肢：

- a) 自己抜管を防ぐため鎮静剤をドルミカム®に戻し、家族の承諾のもと上肢を抑制した
- b) ヘッドアップ時20mmHgの血圧低下を認めたため、水平に戻して再度血圧を測定した
- c) 80°ヘッドアップのまま様子を見て、再度血圧測定を行った
- d) 鏡で患者さん自身の姿を見てもらい、患者さんに本日の日付を伝えた
- e) 端座位を行い血圧の変化と自覚症状の有無をチェックした

1. a, b 2. b, c 3. c, d 4. d, e 5. a, c

解答：1

解説：

- aはせん妄を増悪させる行動のため推奨できない。
- bは水平に戻すことで人工呼吸器関連肺炎を起こす危険があるため、推奨できない。また20mmHg程度の血圧変化は自発変動内であると可能性も考慮すべきである。
- cは問題ない行動。
- dはせん妄予防の効果が期待できる。
- eは血圧の自発変動内の変化ととらえた結果の行動で的確な判断と考える。よって、1が解答となる。